

失敗を重ねながら初出荷！

あさげ開け新聞



- センブリ栽培を始めて早や三年。雑草や病原菌の「さび病」、病害虫の「シクラメンホコリダニ」と闘いながら、出荷にたどり着きました。
- 【右の写真は今年のセンブリの花】
1. 稲作事業
 - ・コンバインによる稲刈りと乾燥、脱穀
 - ・稲架掛け米の脱穀、粳摺り
 - ・来年借用予定地の草刈り
 2. 園芸事業
 - 【野菜栽培】
 - ・キュウリ、ナス、トマト、ピーマンの収穫、出荷
 - ・キャベツ、サツマイモ、里芋、レタス、二十日ダイコンの収穫、出荷
 3. 薬草事業
 - ・野沢菜の間引き
 - ・玉ねぎ、ニンニクの植付
 - 【トウモロコシ栽培】
 - ・畑の耕起と草刈り
 4. センブリ栽培
 - ・畝の草取り
 - ・サビ病の消毒（アミスター）
 - ・シクラメンホコリダニの消毒
 - ・収穫、洗浄、選別、乾燥、出荷
 - ・一年草の越冬準備
 5. 加工事業
 - 【加工事業】
 - ・調理場確保に向けた清掃
 - ・福縄づくり
 - ・米俵づくり
 - ・しめ飾り用水引の製作

地域共生推進室 発行
【25号】
2022年11月4日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！

mail ;
ta-hara@koaglobal.com

稲作事業 《白餅/コシヒカリ》

十月十四日、秋晴れの中、白毛餅とコシヒカリの稲架掛け米を脱穀し、今年の稲作作業が全て終了しました。白毛餅は粳摺り前で結果は出ていませんが、コシヒカリの収穫量は玄米数量で七十九・四二俵でした。

【コシヒカリの脱穀風景】



園芸事業

十月二十七日、十日のキャベツ収穫に続いて、レタス二百六個、サツマイモ百八十五キロを収穫しました。レタスは霜が降り収穫を早めた事で小ぶりのサイズでした。

【レタスの収穫風景】



植付の際に肥料の要らないサツマイモは、隣で栽培したトウモロコシ

の肥料が効いてしまい、畝でイモの成長にバラツキが出てしまいました。【写真右側がトウモロコシ畑に近い畝】



定植は玉ねぎの苗を千三百本植付しました。今年は玉ねぎが不作で価格が三倍に高騰しましたが、来年の収穫時には、どうなるでしょう。

【玉ねぎ苗の植付風景】



《とうもろこし栽培》

十月十二日、重作業な茎切断も終り、畑を耕起しました。来年は茎切断の軽作業化を図ります。

【道の駅前十八番の耕起風景】



薬草事業 《センブリ栽培》

十月六日、播種から二年目となるセンブリの花の中から、二割ほど開花したものを根から抜き取り収穫しました。その後開花状況にあわせ二度収穫しました。

【センブリの収穫風景】



雨天に収穫した為、一度泥を落としてから、流水で根元や株元に付着した泥やゴミを洗い落としました。

【根元の洗浄風景】



根元、株元の洗い落としが無いと確認し、片手一握りくらいの大きさにして輪ゴム止めし、コンテナに入れました。

【外観選別風景】



新鮮重量の四分一になるまで、倉庫の陽あたりの良い場所で乾燥しました。

【倉庫内の乾燥風景】



【梱包前のセンブリ】



薬細工事業 《米俵の製作》

十月三十一日、乾燥済のセンブリをビンニールに包み、段ボールに入れて長野県生薬株式会社へ初出荷しました。



《締め飾りの見本》

しめ飾りの見本を添付しますので、お買い求めください。

【めがね】



【二輪飾りB】

【二輪飾りC】

